

## 平成28年度活動実績

### ごみ減量市民会議

生駒市ごみ減量市民会議活動内容 該当項目(網掛部分)

- ①市民意識の把握 ②懇談会の実施
- ③有料化の成果をPR ④生ごみの削減
- ⑤キエーロの普及 ⑥資源ごみの分別

#### 第1回

平成28年 7月29日 午後1時30分～

案件 協議事項

- (1)座長・座長代行の互選について
- (2)活動内容と今後の取り組みについて
- (3)「ごみ減量化に向けて」アンケート(案)について

#### 第2回

平成28年 9月 5日 午後1時30分～

案件 報告事項

- (1) 今までの経緯(トライアルで行ったことのポイント)
- (2) 平成28年度ごみ減量市民会議活動計画(案)

協議事項

- (1) 自治会懇談会について
- (2) いこま博での啓発活動について
- (3) キエーロトライアル

#### 第3回

平成28年10月24日 午後1時30分～

案件 報告事項

- (1)萩の台住宅地自治会懇談会について
- (2)「ごみ減量化に向けて」アンケートについて(中間報告)

協議事項

- (1) 自治会懇談会について
- (2) いこま博での啓発活動について

#### 第4回

平成28年12月16日 午後1時30分～

案件 報告事項

- (1)あすか野自治会懇談会について
- (2)いこま博での啓発活動について
- (3)「ごみ減量化に向けて」アンケートについて

協議事項

- (1) 自治会懇談会について

第5回

平成29年 2月16日 午後3時～

案件 報告事項

- (1)小明台自治会懇談会について
- (2)平成28年度活動実績について

協議事項

- (1)平成29年度の活動計画案について
- (2)自治会懇談会について

## アンケート

生駒市ごみ減量市民会議活動内容 該当項目(網掛部分)

- ①市民意識の把握 ②懇談会の実施
- ③有料化の成果を PR ④生ごみの削減
- ⑤キエーロの普及 ⑥資源ごみの分別

### アンケートの概要

- 対象 市内に在住の世帯主の中から 2,500 名を無作為で抽出し、家族で主にごみを出されている人としてしました。
- 実施期間 平成 28 年 9 月 15 日に発送し、回答期限は 9 月 30 日(金)としてしました。
- 回収枚数(回収率) 1,181 通(47.2%)

### アンケート結果

#### ● 使用指定袋 想定したより小さい指定袋を使用

「Q 6. 主に何リットルの指定袋を使っていますか。」では、想定していたより小さい指定袋が使用されていることが確認できました。

#### ● 一週間での使用袋数 1 週間に 2 袋が多い

「Q 7. 一週間(燃えるごみの収集 2 回)で指定袋を何袋出しますか。」では、一週間(燃えるごみの収集 2 回)で 1 袋以下しか出さない人(毎週出さない人含む。)も 22.5%いることが確認できました。

#### ● プラスチック製容器包装・ミックスペーパーの分別 分別によりごみが減量

Q 9 でプラスチック製容器包装については、91.3%が、Q 10 でミックスペーパーについては、84.2%が分別をしていると回答しており、有料化により多くの人が分別していることによって、ごみの減量が進んでいることが確認できました。

また、プラスチック製容器包装で、8.7%が、ミックスペーパーについては、15.8%がまだ分別していないので今後啓発していく必要があります。

#### ● 環境・ごみへの関心 有料化前より関心は減少

「Q 11. 環境・ごみに関心はありますか。」では、「大いに関心がある・少し関心がある」の合計が、平成 25 年度 94.6%が、平成 28 年度で 89.6%に 5%に減少しました。引き続き高い水準にはあるものの、有料化実施前より実施後のほうが環境・ごみに関心が若干減少しています。

#### ● 重点施策の効果 ごみの有料化に効果があると思う人が 53%に

「Q 16. 家庭系ごみの減量・資源化を進めるにあたって、生駒市が「ごみ半減プラン」で重点施策としている施策について、それぞれ、どの程度効果的だと思いますか。4 家庭系ごみ処理の有料化」の問いに対して、「非常に効果的と思う・やや効果的と思う」の合計が、平成 25 年度の 35.1%が、平成 28 年度で 53%に 17.9%に増加しています。有料化実施前より実施後のほうが、家庭系ごみ処理の有料化が家庭ごみの減量・資源化に効果的と思う人が増加しています。

●自由記述欄 今後のごみ減量の取組みのために

「Q19. 家庭や地域及び生駒市のごみ減量の取組について、あなたの意見や提案などをご自由にご記入ください。」の意見や提案の主なものについては、次のようなものがありました。

〔有料化に賛成〕

- ・ ごみ減量の意識を高めるためにも有料化は有効でごみの量が減少した。
- ・ 有料だから極力ごみを減らそうと行動します。
- ・ 地域でもかなりごみの量が減っています。掃除もらくになりました。

〔有料化に反対〕

- ・ 有料化に反対、無料に戻してほしい。
- ・ 一定量の指定袋の無料配布してほしい。
- ・ 指定袋・大型ごみ処理券が高すぎる。
- ・ 指定袋の種類や品質に不満がある。

〔その他〕

- ・ ごみの分別についての啓発が必要
- ・ プラスチック製容器包装ごみが増えて集積場所を増やしてほしい。
- ・ 大型ゴミ・燃えないごみを地域で出せるようにしてほしい。
- ・ 分別した資源ごみの処理が適正に処理されているか疑問。
- ・ 事業者に過剰包装しないように指導することも必要。
- ・ 家具や子ども服をリユースするシステムを作してほしい。

## 自治会懇談会

生駒市ごみ減量市民会議活動内容 該当項目(網掛部分)

- ①市民意識の把握 ②懇談会の実施
- ③有料化の成果をPR ④生ごみの削減
- ⑤キエーロの普及 ⑥資源ごみの分別

### 萩の台住宅地自治会懇談会

1. 開催日時 平成28年10月6日(木) 午後3時～4時30分
2. 場 所 萩の台住宅地自治会館
3. 出席者 36名
4. 懇談内容
  - プラスチック製容器包装等のごみ分別についての理解が得られていない部分があったが、懇談会で理解が深まった。
  - 生ごみ処理器が普及していた。(9名が取り組み)
  - 自治会の中でごみを出せない人がいれば近所同士でごみ出しの手伝いしたい旨の建設的なご意見をいただいた。

### あすか野自治会懇談会

1. 開催日時 平成28年11月6日(日) 午後1時30分～3時10分
2. 場 所 あすか野自治会館
3. 出席者 18名(自治会員)
4. 懇談内容
  - 生駒市衛生社「スマートごみ分別でエコライフ」を配布したところ、分かりやすい等の好評を得た。
  - 有料化でごみが減ったとの意見が多かった。
  - 生ごみ処理器を普及していた。(3名が取り組み)

### 小明台自治会懇談会

1. 開催日時 平成29年1月9日(月・祝) 午後6時00分～7時15分
2. 場 所 小明台東集会所
3. 出席者 約30名
4. 懇談内容
  - ごみ減量に関心がある方が少なかった。
  - 有料化でごみが減ったとの意見が少なかった。
  - 生ごみ処理器を普及していなかった。(取り組み者なし)
  - 今後、ミックスペーパー等を含めてもう少し分別しようかと思う方に挙手を求めたところ、大多数の方の挙手があった。

### 辻町アーバンライフ自治会懇談会 (予定)

1. 開催日時 平成29年2月19日(日) 午前10時00分～
2. 場 所 辻町アーバンライフ1階集会室
3. 出席者 約〇〇名
4. 懇談内容

## いこま博参加

生駒市ごみ減量市民会議活動内容 該当項目(網掛部分)

- ①市民意識の把握 ②懇談会の実施
- ③有料化の成果をPR ④生ごみの削減
- ⑤キエーロの普及 ⑥資源ごみの分別

## いこま博 2016

### 1. 高山サイエンスプラザの交流ギャラリー

日 時 平成28年11月13日(日) 10:00~14:50

場 所 高山サイエンスプラザ1階ギャラリー

内 容

- ①ごみ減量市民会議の啓発コーナー(パネルの展示とチラシの配布)
- ②アンケートを実施(回答者数 528名)

アンケート集計結果

1.有料化が始まってから、燃えるごみの量は減りましたか。

- ①はい 457名(86.6%)
- ②いいえ 54名(10.2%)
- ③どちらとも言えない 9名(1.7%)
- ④無回答 8名(1.5%)

2.ミックスペーパーを分別していますか。

- ①はい 452名(85.6%)
- ②いいえ 73名(13.8%)
- ③どちらとも言えない 0名(0.0%)
- ④無回答 3名(0.6%)

3.生ごみは絞ってから出すなど、減らすための取り組みをしていますか。

- ①はい 461名(87.3%)
- ②いいえ 55名(10.4%)
- ③どちらとも言えない 0名(0.0%)
- ④無回答 12名(2.3%)

### 2. 真弓小学校体育館

日 時 平成28年11月13日(日) 11:00~14:50

場 所 真弓小学校体育館

内 容

- ①キエーロの実物の展示とDVDでの使い方の放映
- ②夏に小学生を対象に実施した『夏休み環境自由研究「ごみ キエーロ」をしよう!』の研究結果展示(31名分)

## 次年度に向けての課題

今年度は、準備期間が短く、特に2カ所に別れて実施した真弓小学校での研究結果展示等は来場者が少なく予定どおりの成果が得られなかった。次年度は、出来る限り1カ所で同時開催するなど改善を図りたい。

## キエーロトライアル

生駒市ごみ減量市民会議活動内容 該当項目(網掛部分)

- ①市民意識の把握 ②懇談会の実施
- ③有料化の成果を PR ④生ごみの削減
- ⑤キエーロの普及 ⑥資源ごみの分別

### ※実践報告よりのまとめ

#### ○消えやすい物

- ・野菜くず・傷んだくだもの・よせ鍋や出汁の残り・生肉・ヨーグルト・食用廃油。  
ドレッシングの残り・マヨネーズ・ケチャップ・

#### ○消えにくいもの

- ・骨・野菜の芯・卵の殻・玉ねぎの皮・魚のアラ・お茶の葉・落葉・枯草・蟹・貝

#### ○その他報告

- ・冬場は消えるまでに時間がかかる。
- ・生ごみを埋めて乾いた土をかけた状態では、臭いはしない。
- ・生ごみは、深く掘って埋めれば虫は発生しない。
- ・プランタータイプは、3人家族での野菜や果物くず限定でも全てを処理することはできない。
- ・タンパク質系のものは多少臭い。
- ・夏場は虫が湧くが早く消える。
- ・野菜の繊維質はなかなか消えない。
- ・魚のアラや動物性の生ごみは夏場虫が湧くことがある。
- ・根菜類・大根の皮・スイカの皮は細かくする必要がある。
- ・蓋の角が尖っているので、子どもがそばを通ると危なく思う。
- ・土ではなく「かんとりー・スーパー」を使う方法もある。
- ・細かくしないと無くなれないと感じた。
- ・突風で破損したので重しが必要
- ・風が強いとガタガタ音がするので重しが必要

#### ○まとめ

- ・野菜くずなどは、早く消えるようになるべく細かくするほうが良い。
- ・生ごみは水切りする必要はなく、乾いている場合は水を加えてかき混ぜる必要がある。
- ・臭いや虫を発生させない為に、シャベルで混ぜて、深く埋め、上から乾いた土を掛けると良い。
- ・家庭から出る生ごみを全てキエーロで処理しようと思わず、消えやすいものを選んで、生ごみを減量するつもりであまり神経質にならずに補助的に使用するのが良い。
- ・効果的な使用方法のガイドブックが必要である。

啓発ビラ配布

生駒市ごみ減量市民会議活動内容 該当項目(網掛部分)

- ①市民意識の把握 ②懇談会の実施
- ③有料化の成果をPR ④生ごみの削減
- ⑤キエーロの普及 ⑥資源ごみの分別

啓発チラシ配布状況

行事名	日時	食品ロス	市民会議	衛生社
学童保育 おさかな教室	8/5・8/12・8/19・8/30	○		
あすか野自治会 懇談会	11/6		○	○
いこま博	11/13		○	
健康づくり推進員 主催研修	11/29	○	○	
小明台自治会 懇 談会	1/9	○	○	○
辻町アーバンライフ自治会 懇談会	2/19	○	○	○